

レディー・ガガの靴をデザインしたアーティストが 舞台制作に挑む

—世界的シューズデザイナー串野真也氏が創る「くるみ割り人形」—

今回、世界的シューズデザイナーの串野真也氏が、貞松・浜田バレエ団の新制作舞台「くるみ割り人形と秘密の花園」で、全幕バレエの舞台ディレクションに初挑戦します。

彼の独創的なアイデアが散りばめられた舞台美術・衣裳のトータルデザインは、バレエファンのみならず、アートファンも見逃せない「くるみ割り人形」です。



レディー・ガガが着用した
『Stairway to Heaven A』(串野真也)



『心の中を埋める何か』(串野真也)



『HAKUHO』(串野真也)

当バレエ団が毎年12月に上演し、1989年の初演から幅広い世代に愛されている演目「くるみ割り人形」。今年は、世界で活躍中の振付家の大石裕香氏とともに、串野真也氏が新たな世界観に創り上げていきます。

串野氏は、世界的シューズデザイナーとして注目を集め、「現実を超越するファンタジー」をコンセプトとした同氏の芸術性の高い作品は、ファッション業界のみならず、レディー・ガガなどエンタメ業界からも高い支持を得ています。

今回の「くるみ割り人形」では、彼の手掛ける世界観に、多彩なアーティストが集結。出演者もバレエダンサーだけにとどまらず、ソプラノ歌手の並河寿美氏、ストリートダンス×男子新体操のプロ集団 BLUE TOKYOのメンバーも登場。

今まで観たことのない新しい「くるみ割り人形」を、是非劇場でご鑑賞ください。

貞松・浜田バレエ団 新制作「くるみ割り人形と秘密の花園」(全2幕)

上演日時：2022年12月17日(土)、18日(日)

開演 15:00 (開場 14:15)

場 所：神戸文化ホール 中ホール (兵庫県神戸市)

公演情報：<http://sadamatsu-hamada.fem.jp/>



マスコミ関係者様のご招待席をご用意しております。詳細は下記お問合せ先までご連絡ください。

串野真也氏のコメント

演出・振付家の大石さんより、新しいくるみ割り人形を創作したいというお話を聞き、普遍的な演目を再構築することにワクワクしました。既存の価値観をアップデートするためには、大変な決意と意志がないと出来ません。

今までの演出ではなく、主人公の心情を描くストーリーに更新されているということも、僕にとっては重要でした。歴史ある演目に新しいエッセンスを吹き込むことが出来る機会はなかなかないので、プレッシャーを感じつつもぜひ挑戦させて頂きたいと思い、お引き受けしました。

今までの世界観にはなかったモダンな舞台セットや、少し現代に寄り添った衣裳を楽しんでいただけたら嬉しいです。

舞台美術・衣裳デザイン：串野真也 Masaya Kushino

京都芸術デザイン専門学校を卒業後、イタリアに留学。“Istituto MARANGONI”ミラノ校、ファッションデザインマスターコースにてディプロマを取得。最先端技術や伝統技術などを駆使した、ファイナルデザインをテーマにした靴の作品や、科学技術を取り入れたアート作品などを世界に向けて発表している。現在は、バイオテクノロジーなど科学技術を取り入れたアート作品なども積極的に取り組んでいる。

作品は、イギリスの国立博物館、
ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館、
NYの Fashion Institute of Technology 美術館に
永久保存されている。

◇受賞歴 ・ JILA LEATHER GOODS AWARD 2007 GRAND-PRIX
・ JILA LEATHER GOODS AWARD 2008 審査員特別賞
・ 京都文化賞 奨励賞 2016



※串野氏への個別取材も受付けております。お問合せは、貞松・浜田バレエ団へお願いします。

作品について

・「くるみ割り人形」を新解釈！「くるみ割り人形と秘密の花園」

多くの方が抱いている「くるみ割り人形」のイメージを覆すような、新しい「くるみ割り人形」の初上演に挑みます。

「くるみ割り人形と秘密の花園」では、私たちが知る「くるみ割り人形」の物語と異なり、少女マリーは、幼いころに両親を亡くしたという設定。

心を閉ざしていた少女マリーが、ドロッセルマイヤーと共に鮮やかな世界に飛び立ち、新たな一歩を踏みだしていく成長の物語。

マリーを取り囲む登場人物の設定も従来のものからアレンジされています。

今まで観たことのないオリジナルの「くるみ割り人形」の世界を、どうぞご期待ください。



●貞松・浜田バレエ団 概要

1965年3月結成。神戸を拠点とするバレエ団。

クラシック・バレエを基本に、古典作品と創作作品を活動の両輪に、公演を続けている。これまでの公演総回数は1,000回を超え、兵庫県文化賞、文化庁芸術祭大賞などを受賞。また、地域に根ざした小中高校の視聴覚教育の一環として、1967年よりはじめた学校巡回公演は、700回を超える。バレエ学園でのダンサー育成にも注力し、プリ・ド・ローザンヌ受賞者など、優秀なダンサーを多数輩出する。2022年、団長の貞松融が舞踊芸術の向上発展に寄与した舞踊家に送られる「第70回舞踊芸術賞」を受賞した。

バレエ団の主な受賞：1980年兵庫県教職員組合文化賞、87年兵庫県文化賞。91年神戸市文化賞、月刊「神戸っ子」ブルーメール賞。98年大阪舞台芸術奨励賞。2002年神戸新聞平和賞・文化賞。05、11年文化庁芸術祭大賞。09、17、18、21年文化庁芸術祭優秀賞。

本件に関するお問い合わせ先

(一社) 貞松・浜田バレエ団 神戸市灘区畑原通 3-6-6

TEL : 078-861-2609 E-mail : production@shballet.or.jp (担当：菅野)

バレエ団 HP : <http://sadamatsu-hamada.fem.jp/index.html>